

Matsue Open Source Business Plan Contest 2020

<http://www.shimane-oss.org/biz-contest2020/>



本コンテストは、IT業界にとどまらず幅広い分野の人たちにオープンソースの情報を広く提供し、オープンソースを活用するプランをアイデアから形にすることで、オープンソースを活用した新しいビジネスプランを事業化・起業化へ繋げることを目的としています。

本コンテストを通じて、RubyそしてOSSの活用の聖地としての松江市のプレゼンスが上がり、応募プラン・受賞プランと企業等とのマッチングの機会となることで、本コンテストでの人的ネットワーク等が活かされ、具体的なビジネス化へ向けた動きとなることを期待します。

ビジネス活用部門

最優秀賞 (1名・団体) 賞金 **20** 万円

優秀賞 (1名・団体) 賞金 **5** 万円

原則として、個人(一般)での応募とし、3人までのチームの応募も可能です。

学生部門

最優秀賞 (1名・団体) 副賞 **5** 万円

優秀賞 (1名・団体) 副賞 **3** 万円

学生が対象。個人もしくはグループ・団体での応募とし、グループ・団体の人数は問いません。

【募集期間】

2020年 1月14日(火) 正午まで

【最終審査会 / 表彰式】

2020年 2月22日(土) 13:45～
松江テルサ4F 大会議室

【最終審査会 特別講演】

2018年学生部門最優秀賞受賞者

佐藤 公治 氏

(鳥根大学総合理工学部) ※受賞当時

【応募方法】

<http://www.shimane-oss.org/biz-contest2020/> から所定の応募用紙をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、事務局まで電子メールでお送りください。

【審査委員】

豪華審査委員が最終ノミネートされたビジネスプランを審査します。

詳しくは、裏面をご覧ください。



2019年の受賞者の皆さん

【主催】松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会(しまねOSS協議会・松江市)

【後援】鳥根県、公益財団法人しまね産業振興財団、国立大学法人鳥根大学、独立行政法人国立高等専門学校機構 松江工業高等専門学校、山陰合同銀行、日本政策金融公庫松江支店

【問い合わせ先】松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会事務局(松江市産業経済部まつえ産業支援センター内)
担当: 岩田、本田 ☎690-0816 松江市北陵町1番地 電話: 0852-60-7101 Eメール: oss-contest@city.matsue.lg.jp

【コンテストの流れ】

＜一次審査＞ 2020年1月14日(火)の募集締切後に応募書類を基に審査します。

＜最終審査会＞ 一次審査通過者は最終審査会(2020年2月22日)に進みます。
最終審査会ではビジネスプランを発表いただき、審査をします。

～豪華7名の審査委員が、あなたのビジネスプランを審査します～

審査委員長	しまね OSS 協議会 会長	井上 浩氏
審査委員	株式会社万葉 代表取締役	大場 寧子氏
(五十音順)	日経 BP 社 技術メディア局 局長補佐	中村 建助氏
	株式会社スマートスタイル 代表取締役	野津 和也氏
	楽天株式会社 執行役員	森 正弥氏
	しまねソフト産業ビジネス研究会 代表	吉岡 宏氏
特別審査委員	2018年学生部門最優秀賞受賞者	佐藤 公治氏



松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト 2019
ビジネス活用部門最優秀賞受賞

吉田 利幸氏

(鳥根県立情報科学高等学校 教諭)

普段の生活(仕事)を少し快適に、少し改善するサービスから考えて、それを創造することを楽しみながら応募させていただきました。

応募書類を作成した段階では不十分なところもありましたが、最終審査に向けて事前に審査員の方から感想やご指摘をいただくことができ、自分のビジネスプランについてさらに深掘りすることができました。最終審査会では審査員の熱い視線を受けながら、素晴らしい舞台で発表させていただけたことを感謝しています。このコンテストで独創性溢れる様々なビジネスプランが生まれることをこれからも楽しみにしています。

松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト 2019
学生部門最優秀賞受賞

佐名木 菜月氏、山口 さくら氏、磯田 香乃氏

(鳥根県立出雲商業高等学校) ※受賞当時

私たちは高校3年間学んだ Ruby を使い学校生活の中で感じていた無駄をシステム化できないかと思い、行事・情報の伝達を円滑化する学校情報管理システムの試作品を作りました。学校では実際に実現できるという声も多く頂きビジネスプランコンテストへ応募しました。経営者の方々の前でプレゼンをすることは緊張と不安でいっぱいでしたが、普段できない経験と素晴らしい賞を頂き大変嬉しい時間でした。今は3人別々の場所へ就職・進学しましたが、この経験を生かして新しいチャレンジを続けたいと思います！

